

NPO法人 CAP 広島だより

発行：特定非営利活動法人 CAP広島
〒730-0043 廿日市市駅前 1 番 3 号
TEL・FAX 0829-20-5114

e-mail cap-hiroshima@viola.ocn.ne.jp
HP <https://www.caphiroshima.org/>



特定非営利活動法人 CAP広島 第13回通常総会報告

理事 宇原 敏子

通常総会は、2019年6月1日（土）14:00～ 西区地域福祉センターにて、正会員31名中出席者22名（含む委任状）により、開催されました。

2018年度の活動では、ワークショップ提供として、子どもワークショップ47回（1323人）、おとなワークショップ9回（154人）を行いました。特に子どもワークショップにおいては、『もみじライオンズクラブ様』からの100ワークショップ分の助成（2019年度も継続）が大きな後押しとなり、『広島市教育委員会様』のご協力を得て、子どもたちにCAPを届ける機会となりました。ワークショップに参加してくださったスペシャリストの皆様、ありがとうございました。

引き続き、よろしくお願いいたします。

今年度の重点課題は、大きく2点を掲げています。

（1）CAP スペシャリストのスキルアップを図り、「子どもへの暴力防止」活動を推進する。

- ・スタッフの活動しやすい運営体制を整える。
- ・実働メンバーのスキルアップに向けた研修会をおこなう。

（2）関係団体と連携し、「子どもの人権擁護」に向けた活動を推進する。

事務所を昨年廿日市市に移し、活動を開始しています。事務所運営だけではなく活動推進にあたっては、CAPの理念を共有し共に活動する仲間がスクラムを組んでいくことが必要です。

1995年の準備委員会発足より、早35年。沢山のスペシャリストの方が広島に誕生し、活動を共にしてきました。それぞれのライフワークの変化により活動への関わり方は様々ですが、自分の周りにいる子どもたちに「あなたは大切な人だよ」と伝えていく存在でありたいですね。

総会では、活動者の減少が続いている現状をふまえて、これまでの「運営委員会としての委員会体制」を廃止し新体制に移行することを提案しました。年度内に検討をすすめ、次回の総会で再提案していきますので、どうぞ皆様のお考えをお示しいただく場としての総会に来年も参加してくださいようお願いいたします。





LGBTQ から SOGI へ

～総会前に行われた ミニ研修会報告～

高橋 克実

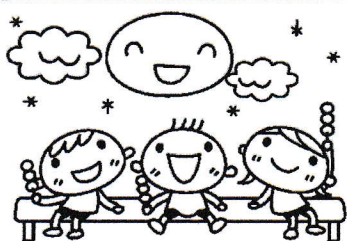
レインボーパレードが当たり前に報道されるようになり、LGBT をテーマにテレビドラマや映画が製作され、少しずつ社会の認識も変わってきたと感じていました。ちょうど総会の前に城理事による LGBT についてのミニ研修会があり、新しい言葉も知ることが出来たので、その報告をさせていただきます。

CAP を学び始めて、性的少数者は4%ぐらいと聞きました。日本ではきちんとした調査はされていないということでしたが、近年、日本でも電通、博報堂、連合、「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チームなどにより調査がされているそうです。調査のやり方の違いや Q を含むか含まないかなどから、数字は3%から8%までけっこうバラバラです。日本で多い苗字トップ4の佐藤、鈴木、高橋、田中さんは5.2%ということですが、性的少数者はもっと多いのかもしれませんが。

後日、ネットを検索するとそれぞれの結果報告をもっと詳しく知ることができました。たとえば、jobrainbow.net など興味を持たれた方は検索してみてください。

最近では LGBT に「Q」を付けることがあります。「Q」とはクエスチョン、つまり「わからない」「どちらでもない」「その枠組みにはまりたくない」「決めたくない」等の人たちのことです。いずれにしても、LGBT となれば性的少数者をさすことになりますが、最近ではすべての人に使用できる SOGI（ソジ）という表現が使われています。SOGI とは、「Sexual Orientation (性的指向) and Gender Identity (性自認)」の頭文字をとったものです。調べてみると、SOGI は国連で国際人権法について議論する過程で生まれたということでした。LGBT を性的少数者としている間は、何か特別な存在と言っているようにも感じられます。SOGI を使ってすべての人が自分のことを表現できれば、とてもナチュラルですしフェアでいいなあと思います。

2018 年 4 月から福祉を学ぶために、大学に通い始めました。大学に通うようになって良かったことの一つに、「今どきの若い人たち」の様子を直接感じられることがあります。同じ学部の彼ら彼女らだけでなく、出会う他学部の若者も、保守的な政治家よりずっとずっと柔軟です。しかし LGBT をまだまだからかいの対象にしていることも残念ながら見受けられます。とはいえ、授業の中で特に LGBT を取り上げて学ぶということはありませんが、人権や多様性についての学びの中で、ソーシャルワーカーとしての感覚が育っている様子はとても楽しみです。多くの「今どきの若者」が通う大学で、きっといるはずの当事者も皆が、自分自身の人生を生きられるような力をつけてほしいと願っています。



・・・会員からコンニチワ・・・

石井 政浩

パソコンづけの仕事のせいか、頸椎ヘルニアで右肩から指先まで痛みとしびれで、普段簡単にできていたことが難しくなっていました。今、当たり前に行えることがとてもありがたく感じています。

昆虫教室のため、たくさん育てていた昆虫飼育も縮小し、こじんまりとやっています。

その他、昔の趣味であったアマチュア無線にカムバックして広島市こども文化科学館で子どもたちに無線通信の楽しさを伝えています。これからも子どもたちとの関わりを楽しみたいと思っていますところす。



2019年度 ワークショップ実績（4月～8月）

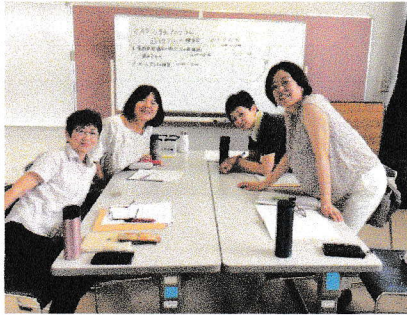


月	場所：対象（ワークショップの内容）	月	場所：対象（ワークショップの内容）
5月	★湯来南小学校：4年生（子ども） ★山田小学校：1年生（子ども） なぎさ公園小学校：2年生（子ども）	7月	★久地南小学校：2年生（子ども） ★牛田新町小学校：3年生（子ども）（保護者） ★古田台小学校：2年生（子ども） ★原南小学校：3年生（子ども） ★安北小学校：3年生（子ども） ★安東小学校：1年生（子ども） ☆八幡小学校：佐伯区小学校教員（教職員） ☆大塚小学校：安佐南区小学校教員（教職員） ☆宇品東小学校：南区小学校教員（教職員）
6月	★天満小学校：3年生（子ども） まこと学園：年長児（就学前） 福木小学校：1年生（子ども） 鈴が峰小学校：2、6年生（子ども） ★真亀小学校：3、4、6年生（子ども） ★落合小学校：2年生（子ども） ★五日市観音西小学校：5年生（子ども） ★久地南小学校：2、4年生（子ども） ★矢野西小学校：3年生（子ども）	8月	☆戸坂小学校：中区、東区小学校教員（教職員） ☆観音新町小学校：西区小学校教員（教職員） ☆落合小学校：安佐北区小学校教員（教職員） ☆矢野西小学校：安芸区小学校教員（教職員）

★印は、広島もみじライオンズクラブより助成いただいたワークショップです。

☆印は、広島市教育委員会健康安全課主催「防犯教室」に講師としてご依頼いただいたワークショップです。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



ロールプレイ練習会（8月22日）報告

宇原敏子

2月に資格更新研修を受け、ロールプレイを学びなおす機会を持ちました。長年、子どもたちに沢山のワークショップを提供するうちに、染み付いてしまった一人ひとりのロールプレイの癖・・・それに気づき苦笑し、本来のロールプレイに立ち返ろうと思った研修会でした。研修会で学んだスキルをアップさせるために、今年度の

重点課題には『実働メンバーのスキルアップに向けた研修会をおこなう』を掲げました。

8月22日に行った『ロールプレイ練習会』には5名の実働メンバーが参加し、シナリオの読み合わせと、ロールプレイの意味を読み深めました。当日集まったメンバーからは、研修会を思い出しては「〇〇じゃったね～」と確認する声や「これまでやっとったロールプレイから、なかなか抜けきれんわ～…」(笑)などの声もあり、2学期に向け、ますます“がんばろう!”の意気込みが感じられました。ワークショップ実施には、実働するメンバーがまだまだ必要です。

今年に入ってから虐待で尊い命が失われる事件が数多くありました。子どもの日常に、子どもの人権を大切にするおとなを増やすことが必須です。CAP子どもワークショップを提供することで子どもたちに、これからも「あなたは大切な人だよ。」と伝えていきましょう。CAPスペシャリストの皆様への積極的な参加をお待ちしています。



編集後記

☆暑かった夏も、もうすぐ終わりますね。今年は、梅雨らしい雨が降らなかったと思っていたら8月後半より長雨が続きしました。そして9月に入り、台風の季節の到来です。各地で災害など起きませんように。

◆女優の樹木希林さんは、生前「登校拒否、不登校を考える会」で講演をされた時に、次のようなお話をされたそうです。9月1日に自殺をする子どもたちが多いことを嘆かれ「…**9月1日がイヤだなんて思ったら、自殺するより、もうちょっとだけ待っていてほしいの。そして、世の中をこう、じっと見てほしいのね。あなたを必要としてくれる人や物が見つかるから。だって、世の中に必要のない人間なんていないんだから…**」と。樹木希林さんのこの言葉に、どれだけの人が心救われたことでしょうか。私たちもCAPの活動を通して、子どもを大切に思うおとなを増やしていきたいですね。

★この夏、絵本作家の宮西達也さんが三次市の小田美術館に来館され、子どもたちに、絵本の世界の楽しさ、表現することの面白さを伝えるイベントがありました。

宮西さんの絵本の世界は、愛にあふれているものばかり。日頃の忙しさの中で忘れかけていた大切なことを思い出させてくれお話ばかりです。

私のお勧めは「**おまえうまそうだな**」…一度、手に取り読んでみてください。あふれ出る涙を拭くハンカチの用意をお忘れなく・・・。

